

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和5年度 技術情報第10号
果樹カメムシ類の発生状況について（送付）

果樹カメムシ類の発生状況について、下記のとおり取りまとめましたので、周知およびご指導をよろしくお願いいたします。

なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ（www.jpnn.ne.jp/kagoshima）にも掲載しています。



令和5年度技術情報第10号

チャバネアオカメムシ発生が餌植物（ヒノキ球果）上で平年よりやや多く、球果からの離脱の目安となっている球果の口針鞘数も急増しています。また、予察灯への誘殺虫数が増加している地域もあり、こうした地域では果樹園への飛来が懸念されますので、注意してください。

1 対象病害虫 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）

2 対象作物 カンキツ、ナシ等

3 発生状況等

（1）主な餌植物（ヒノキ球果）上での発生状況

ア 本年のヒノキの球果量も平年よりやや多く（表1）、8月7日の調査ではチャバネアオカメムシの成幼虫数が平年よりやや多いことから（表2）、新生世代の発生量はやや多いと推察される。また、すでに新成虫の発生が認められる。

イ 同日に調査した球果の口針鞘数（カメムシ類の吸汁痕数）は平均8.2本/果（平年6.9本/果）と急激に増加し、調査地点によっては球果からの離脱の目安となっている25本/果に近づきつつあり（表3）、果樹園への飛来が懸念される。

（2）予察灯での誘殺数の推移

出水市、いちき串木野市の予察灯では、8月3半旬にかけてチャバネアオカメムシの誘殺数が急激に増加している（図1）。

4 防除上注意すべき事項

（1）果樹園への飛来は地域により異なり、園内でも偏りがあるので注意深く見回り、飛来を認めたら直ちに防除する。

（2）餌植物の劣化や台風等による球果の落果等で餌不足になると、成虫が果樹園へ飛来する場合がありますので注意する。

（3）一回目の防除は残効の長い合成ピレスロイド系薬剤またはネオニコチノイド系薬剤を選択する。なお、合成ピレスロイド系薬剤を散布するとミカンハダニが急激に増加する場合がありますので、散布後の発生に注意する。

（4）防除にあたっては、防除薬剤の使用回数や使用時期を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

5 参考データ

表1 餌植物（ヒノキ）の球果量指数

調査地域	程度	本年	平年
南薩	中	54	43
北薩	多	73	46
始良	やや多	69	48
大隅	やや多	64	41
平均	やや多	65	45

- 注1) 球果量は目視による達観調査（30地点）、評価は7段階（極多, 多, やや多, 中, やや少, 少, 極少）
 2) 球果量指数は愛媛県（2018）による。球果量が多いと指数が高く、少ないと指数が低くなる
 3) 球果量指数： $((\text{極多地点数} \times 7) + (\text{多地点数} \times 6) + (\text{やや多地点数} \times 5) + (\text{中地点数} \times 4) + (\text{やや少地点数} \times 3) + (\text{少地点数} \times 2) + (\text{極少地点数} \times 1)) / (\text{総地点数} \times 7) \times 100$
 4) 平年は、2013～2022年の10年間の平均

表2 ヒノキ球果での発生虫数（8月7日調査）（単位：頭/5枝）

調査地点	チャバネアオカメムシ			ツヤアオカメムシ		
	幼虫	成虫	計	幼虫	成虫	計
南さつま市	0	0	0	0	1	1
いちき串木野市	0	2	2	0	0	0
阿久根市	1	0	1	0	0	0
出水市①	7	5	12	0	0	0
出水市②	1	1	2	0	0	0
さつま町	0	3	3	0	0	0
霧島市	0	1	1	0	0	0
曾於市	1	0	1	0	0	0
本年	1.3	1.5	2.8	0.0	0.1	0.1
平年	0.3	1.1	1.4	0.0	0.2	0.2

- 注1) 県内8地点で、1地点あたり5枝の結果枝を調査
 2) 平年は、2013～2022年の10年間の平均

表3 ヒノキ球果の口針鞘数（カメムシ類の吸汁痕数）（単位：本/果）

調査地点	調査月日		
	7月10～13日	7月24日	8月7日
南さつま市	0.0	0.4	0.0
いちき串木野市	3.5	7.6	18.5
阿久根市	0.0	3.6	18.6
出水市①	1.4	6.8	10.9
出水市②	0.2	4.0	10.6
さつま町	0.2	1.6	5.4
霧島市	0.0	0.0	0.9
曾於市	0.0	0.6	0.6
本年	0.7	3.1	8.2
平年	0.4	2.8	6.9

- 注1) 平年は、2013～2022年の10年間の平均
 2) カメムシがヒノキ球果から離脱する目安は、口針鞘数25本/果

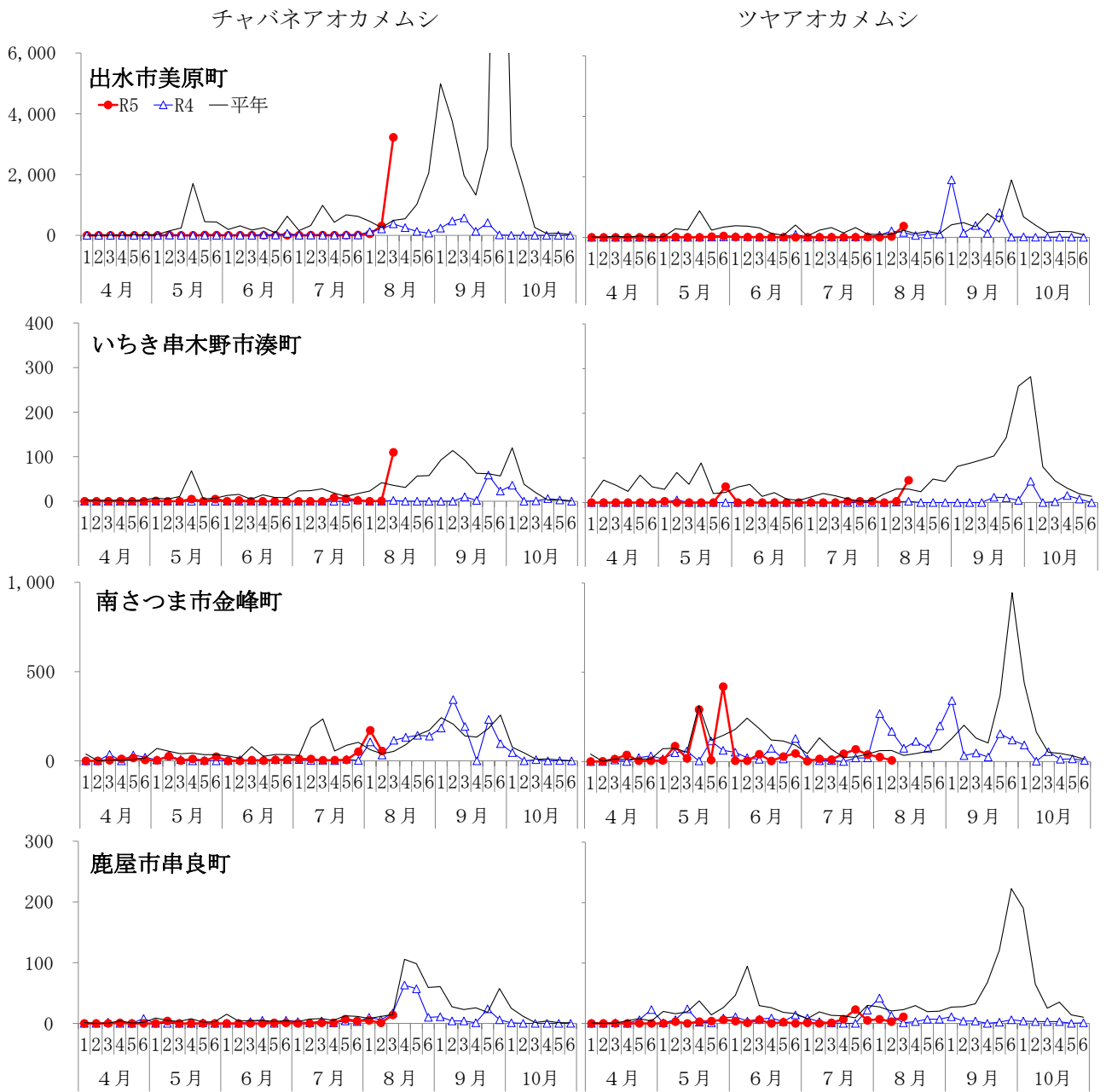


図1 予察灯での果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移